

九州における大豆の晩期栽培

異儀田和典・羽鹿牧太・高橋将一 (九州農業試験場)

Kazunori IGITA, Makita HAJIKA and Masakazu TAKAHASHI :
Growth Habit of Late-Planted Soybean in Kyushu

近年九州地方では早期水稲の作付が増加し、それにつれて早期水稲跡地の利用が問題となっている。著者らはこの水稲跡地での大豆栽培に適した大豆品種を選定することを目的に、1992年から1994年にかけて大豆を晩期栽培して収量等について検討してきたのでその結果を報告する。

1. 試験方法

九州の秋大豆を中心に、九州農試で育成中の系統を含め1992年は45品種・系統、1993年は63品種・系統、1994年は51品種・系統を供試した。播種は1992年は8月6日、1993年は8月13日、1994年は8月12日に行った。栽植密度は22本/m² (畦幅70cm, 株間13cm, 2本立), 一区の面積は1992、1993年は4.7m², 1994年は1.6m², 各2区制で実施した。その他は当研究室の慣法に従った。

2. 結果および考察

主要な品種・系統の収量を第1表に示した。1993年は冷夏および病害虫の多発のため各品種・系統とも収量が著しく低くなった。1993年を除くとフクユタカ、アキヨシは安定した収量が得られたが、アキシロメ、エンレイなどは年次によって収量が増減し、安定しなかった。またIAC-8等低緯度地域の大豆品種は年次によっては成熟せず、収量が極端に落ちる場合があった。このような収量が安定しない品種は晩期栽培には不適であると考えられた。

品質で重要な形質である百粒重は第2表に示した。いずれも晩期栽培した場合は百粒重が低下し、大粒の大豆を得ることは困難と考えられた。

機械化適性では最下着莢高および裂莢性が重要となるが、晩期栽培では熟期が晩秋となるので、裂莢性は考慮外とし、最下着莢高のみを調査した。エンレイ、シロタエなどは最下着莢高が低く機械化適性が劣ると考えられた。

収量20kg/a以上、百粒重25g以上、最下着莢高10cm以上を条件とすると晩期栽培で有望と考えられた品種・系統は第3表のとおりであった。ただし1993年は収量が極端に少なかったため除外した。九州の主要品種であるフクユタカは収量がやや劣り、必ずしも晩期栽培に適していないと考えられた。両年とも条件を満たす品種・系統はなかったが、面河大豆は比較的有望であった。

以上の結果、今回試供した品種・系統には晩期栽培に有望なものも見られたが、いずれも実用化には不十分で、晩期栽培により適した品種の選定や育成が必要であると考えられた。また晩期栽培では大粒の大豆を得ることは

困難と考えられたので、今後は納豆用の小粒大豆の栽培も検討していく必要があると考えられた。

第1表 主な品種・系統の収量 (kg/a)

品種・系統	1992年	1993年	1994年
フクユタカ	17.1	2.4	17.2
アキヨシ	18.6	2.4	18.4
アキシロメ	24.5	2.5	12.5
タマホマレ	22.8	1.1	16.2
エンレイ	21.0	3.5	10.3
シロタエ	24.2	2.0	12.8
九州106号	24.0	3.2	13.9
コガネダイズ	19.8	1.4	20.8
S J 1	20.1	1.3	18.1
I A C - 8	5.6	—	15.6

第2表 主な品種・系統の百粒重 (g)

品種・系統	1992年	1993年	1994年
フクユタカ	25.0	14.3	24.3
アキヨシ	25.5	12.3	23.8
アキシロメ	25.5	15.0	24.0
タマホマレ	22.6	14.3	21.7
エンレイ	24.6	14.5	21.9
シロタエ	26.4	18.8	26.9
九州106号	26.5	16.4	24.8
コガネダイズ	19.8	12.4	13.0
S J 1	13.2	7.5	12.5
I A C - 8	5.6	—	9.5

第3表 晩期栽培において有望と考えられた品種・系統

品種・系統	収量 (kg/a)	百粒重 (g)	最下着莢高 (cm)
九州105号	20.5	25.2	11.7
九州106号	24.0	26.5	11.3
九系138号	22.5	28.2	12.8
ニシムスメ	24.4	25.1	12.0
面河大豆	20.3	29.9	10.1
(比・フクユタカ)	17.1	25.0	10.4
九系197号	20.8	23.7	12.5
九系206号	19.9	36.8	9.3
九系152号	18.0	35.2	8.4
九州118号	17.9	24.6	11.3
面河大豆	18.6	30.5	12.1
(比・フクユタカ)	17.2	24.3	12.0

注) 上段は1992年、下段は1994年